

# 春の河／小景異情

名前

- 思い浮かべた情景が伝わるよう、どこをどのように読むか書きましょう。

## 読み方の工夫

読む速さ、声の大きさ、  
間の取り方、声の高さ・明るさなど

春の河

山村 さんじゅら  
暮鳥 ぼちよ

たつぶりと

春は

小さな川々まで

あふれてゐる

あふれてゐる

小景異情

室生 むろう  
犀星 さいせい

あんずよ

花着け

地ぞ早はやに輝かやけ

あんずよ花着け

あんずよ燃えよ

想像した情景や筆者の思い

# 1 春の河／小景異情

前

- 思い浮かべた情景が伝わるよう、どこをどのように読むか書きましょう。

## 読み方の工夫

読む速さ、声の大きさ、間の取り方、声の高さ・明るさなど

春の河

山村  
暮鳥

たつぶりと

春は

小さな川々まで

あふれてゐる

時間があれば、色鉛筆を使って、イラストを描いてみるのもいいね。

小景異情

室生  
犀星

あんずよ

花着け

地を早やに輝やけ

あんずよ花着け

あんずよ燃えよ

☆上手な音読のヒント  
 ※あんずよと呼びかけになつているね。  
 ※花着け→燃えよの言い換えから  
 どんな景色の広がりを感じるかな。

☆上手な音読のヒント  
 ※「春の川」ではなく、「春の河」なのはどうしてだと思いませんか。  
 ※最後に「あふれてゐる」と反復することで、何が（あふれていると）表現されているのでしょうか。

想像した情景や筆者の思い


○自分が想像した春の景色を聞く人に思い浮かべてもらうには、どのように読んだらいいかを考え、工夫して音読してみよう！！ 森先生と佐藤先生は「春の河」吉田先生は「小景異情」がおすすめ！！

帰り道

## 名 前

天気雨の後	天気雨の間	天気雨の前の帰り道	放課後の玄関口	昼休み	場面
					考 え て い た こ と、 心 情
					律

それぞれの場面で、「律」と「周也」はどんなことを考えていたのでしょうか。

● それぞれの場面で、「律」と「周也」はどんなことを考えていたでしょうか。

天気雨の後	天気雨の間	天気雨の前の帰り道	放課後の玄関口	昼休み	場面
			<p>① 例 「あっ、やばい周也だ。」という 少し気まずい心情</p> <p>②一緒に帰るつもりなのかな。と 戸惑う気持ち。</p>		考 え て い た こ と、 心 情  律
			<p>① 例 「律、怒っているかな…」</p> <p>② 昼休み言い過ぎたよな。俺が悪い いし、このままだと気まずくなるな…どうしよう。</p>		周也

### 登場人物の心情が読み取るには…（学習のポイント）

- ①心情語として直接書いてある。「うれしい」
- ②会話文から読み取る。「あんなこと言わなければよかった」（後悔）
- ③人物の行動（表情や態度も含む）から読み取る。「肩を落とした」（がっかり）
- ④情景描写から読み取る。「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました」（情景から大造じいさんの『やる気』や『気合い』が感じ取れる。）

## 帰り道

名前

● 次の言葉を参考にしながら、二人の人物像を考えましょう。

たくましい

おおらか

おつとり

しんちよう

まっすぐ

落ち着き

おくびょう

おだやか

たのもしい

明るい

活発

おつちよこちよい

あわてんぼう

おしゃべり

正直

マイペース

ひかえめ

気弱

消極的

積極的

冷静

① 「律」の人物像を考えましょう。  
 「律」から見た「律」

・「周也」から見た「律」

・あなたから見た「律」

・一文で「律」の人物像をまとめましょう。

②  
 「周也」の人物像をまとめよう。  
 「周也」から見た「周也」

・「律」から見た「周也」

・あなたから見た「周也」

・一文で「周也」の人物像をまとめましょう。

## 帰り道

名前

● 次の言葉を参考にしながら、二人の人物像を考えましょう。

たくましい	おおらか	おつとり	しんちょう	まっすぐ
落ち着き	おくびょう	おだやか	たのもしい	明るい
活発	おっちょこちょい	あわてんぱう	おしゃべり	
マイベース	ひかえめ	気弱	消極的	
		積極的	積極的	正直
		冷静		

① 「律」の人物像を考えましょう。

「律」から見た「律」

「周也」から見た「律」

あなたから見た「律」

一文で「律」の人物像をまとめましょう。

② 「周也」の人物像を考えましょう。

「周也」から見た「周也」

「律」から見た「周也」

あなたから見た「周也」

一文で「周也」の人物像をまとめましょう。

昨日までの学習も活かしながら、「律」と  
「周也」の人物像をまとめていこう！